

2025 年 7 月 23 日

柴本 和夫

① 国際政治の話題

- ・トランプ関税が、「銅」にも拡大。関税対象の拡大は止まらない
山本リンダが、この状況を歌う～ああ、「銅」にも止まらない
- ・来て欲しい手紙＝カナダからの手紙。来て欲しくない手紙＝トランプからのお便り
- ・石破総理の二刀流の食糧政策～米国とは、コメだ。中国とは、パンだ

② 異様な参院選～やるやる詐欺の見本市

- ・なんでも反対の野党陣営。新規参入したのは、なんでも賛成の参政党
- ・日本人ファーストを英訳すると、メイク・ジャパン・グレート・アゲン
- ・参政党に反対するのは、「メルカリ」～これはフェイク。酸性の反対は「アルカリ」
- ・野党の減税公約は、ニンジンと空念仏。際限のない話と、財源のない話
- ・べらぼうは、ありがた山のホトトギス。和歌山県の応援演説は、ありがた迷惑の極み
- ・言葉の研究～躍進の玉木党首の名前に「ん」をつけちゃった ⇒ 玉木ん

③ 政治関連

- ・買ったことがない～加藤前農相の米 勝ったことがない～自民党の選挙（3連敗）
- ・政治家の失言の連鎖に唾然～トンデモ失言に、キテレツ失言
- ・参院選挙の奢れる自民党に「教訓」が届きました
美空ひばりの教訓～勝つと思うな、思えば負けよ（名曲の柔）
張本勲の教訓とは～勝つと思うな、思えば喝よ（TV サンデーモーニング）
- ・伊東市長の辞任騒動～三年目の浮気と、除籍ぐらい、大目に見てよ
学歴にも、新ジャンル登場～卒業と中退、そして新ジャンルの除籍
東洋大学に女学生として在籍。女学生の在籍～それで女籍だったと言い訳

④ 最近の世相

- ・TOKIO の突然の解散を予言していた沢田研二の歌～TOKIO が空を飛ぶ
- ・半夏生の過ごし方～酷暑の夏は、厚化粧でも薄化粧でもなく、半化粧で過ごす
- ・熊との遭遇場所の相違
童謡の場合～ある日「森の中」クマさんに出会った。
今年の場合～ある日「家の中」クマさんに出会った。ゴルフ場の中でも出会った
- ・野球のセパ交流戦は終了。政界のセパ交流（セクハラ・パワハラ）は終わりが見えない

⑤ ダジャレ系

- ・早稲田は、都の西北。そして盛岡は、宮古の西北
- ・日産と本田と幻の統合を悔やむ～幻の日産+本田の統合で、新会社の「日本」の誕生
- ・小泉大臣が積水ハウスのCMに登場～セキスイが、「セクシー」と聞こえるのが不思議
- ・鎌倉時代～蒙古襲来 今年の夏～猛暑襲来+猛虎襲来
- ・「グランプリ」に優勝した。でも世間の反応は、冷たい「シランプリ」
- ・古い時代には存在したもの～あったらしい。新たに登場したもの～あたらしい

過去のあったらしいダジャレを懐かしみ、新しいダジャレを披露する

おいおいに笑おうジョークサロンで